

第8回桜ケア運営推進会議 議事録

複合型サービス桜ケア西線6条

管理者 加藤 寛子

1. 日時 平成27年1月26日(月) 16:00～
2. 場所 桜ケア2F リビング
3. 出席者

中央区第一地域包括支援センター 西牧 様
 町内会会長 佐藤 様
 利用者様ご家族 小沢 様 大石 様 岡本 様
 (株)さくら生活サポート 代表取締役 中井 朗友
 桜ケア西線6条 管理者 加藤 寛子 介護支援専門員 桜田 直己
 サービス付き高齢者向け住宅花らいふ 管理者 川岸 英治

議題

- 1) について～1/26現在の利用状況は、登録者19名です。(登録定員24名)

要介護1	9名	男4女5	
要介護2	5名	男4女1	
要介護3	2名	女2	1名入院中
要介護4	2名	女2	
要介護5	1名	女1	1名入院中

8 11

◎職員の配置人数～介護職員 11名 看護職員 7名

通いと訪問の利用者様に対して、5名から6名の介護・看護職員が日中おります。

夜間、20時から朝7時まで介護職員1名が夜勤をしております。

(夜勤者は16時～朝10時勤務)

22時より、宿直職員が泊まり、何かあった場合の対応に備えております。

1月中旬以降、利用者様の入院もあり、宿直者は20時で帰宅しております。

何かあった場合、管理者へ連絡し必要であれば駆けつける事になっております。

又、利用者様の状態に合わせて、宿直職員が泊まる事もあります。

- 2) については、

- ・原気体操Part2 11/23済み
- ・クリスマス会 12/21済み
- ・新年会 1/18済み
- ・節分レクリエーション 2/3 お便りは配布済みです。

お誕生会は個別に行っています。職員の手作りケーキが好評です。

◎避難訓練～11/25（火）15：30 夜間を想定し、希望者は2階から避難（踊り場まで）

別紙あり。

3) 事故報告、その他

◎事故報告

12月 ・就寝前の薬5錠のうち、1錠飲み残しがあったのを、朝まで気付かなかった。
対策～ケースに書いてある個数を見て、必ず確認して、空き袋の中身も確認するよう注意。
・朝食時の迎えの際、ドアを閉め鍵を掛けようとした際、バランス崩し転倒された。
・通いで体操し、立ち上がって移動しようとした際、力が抜けて、尻もちをつく。
対策～転倒については、日々注意し見守り等しているが、ご本人のその日の体調なども考えて対応しなければならない事を認識してそばで見守りしたり、場合によっては職員の立ち位置を変える、車椅子を使用する等必要である。
・前を見ないで歩いていて、食堂ドア（ガラス）に、頭をぶつけた。
対策～そばに職員がいたのに起きた事故なので、普段のご本人の様子をきちんと把握し、目を離さないよう注意した。

1月 なし

◎アンケートの集計結果 お忙しい中、回答頂いたご家族様、ご協力ありがとうございます。ご記入頂きましたコメントや疑問点に対し、別にまとめた物がありますので、ご覧下さい。
(サービス内容について…)

◎「笑顔で挨拶を」～11月に職員の目標として掲げました。職員で自己評価しながら、今後も続けて実施していきたいと思っています。12月末自己評価では、5段階評価で、3と4が多かったです。オール5を目指していきたいです。

4) 質疑応答

◎中央区包括支援センターの西牧様より、事故の対策について質問がありましたので、事故報告の所に赤字で記載しました。

・ご家族様より

◎今回説明があった複合型サービスと小規模多機能の違いなど、以前は全くわからなかった。

ここで過ごしてみて初めてこんなにいいサービスがあるとわかった。こんなにいいのに、なぜ普及しないのか？何でも対応してくれて、行事もたくさんやってくれて…こんな所なかなかないと思います。

⇒中央区には、複合型サービスは今2軒しか無いのですが、看護師の人数の確保が難しい、職員も多く必要等で経営は難しいサービスという事もあり、なかなか増えて行かないのかもしれない。医療面が可能という点では、利用者様の安心度が違うと思いますし、先の事も考えるととても良い点が多いと思って、運営しております。当事業所は介護、看護の切れ目なく同様にサービスを実施している点も良い点だと思っています。（分けて行っている事業所もあります。）

◎4月で介護保険の改正があり、同一建物での介護サービスは介護報酬が減ります。

サービスは変わるのでしょうか？どうなるのでしょうか？

⇒介護保険の改正は国が決める事なので、仕方がないのですが、同一建物だから楽に介護していると判断され報酬が減ると言うのは腑に落ちない所です。訪問のサービスで説明しましたが、3食の食事の送り迎え（安否確認や歩行確認含む）や、夜間の入眠確認の訪問（排泄や薬の内服介助等）等、訪問回数は非常に多くなっており、外に住んでいる方に対してそこまでは出来ないのも、同一建物だからこそ、ここまで手厚く出来ると言えます。国はそこの評価はしてくれていません。

ただ、報酬が減るからと言って、サービスまで減らすと言う事も出来ないと思いますので、介護サービスについては、今まで通りになると思いますので、ご安心ください。

国では介護を家庭で…という方向に考えているようですが、本当に家族介護がどれだけ大変か…実際に体験してみないとわからないと思います。私達福祉関係のスタッフは在宅介護の家族様の大変さ、苦しさや辛さを目の当たりにすることも多く、その大変さを少しでも軽減出来たらと思いつつ、以前の経験なども生かしながら業務にあたっております。困りごとがありましたら一緒に解決していきたいと思っております。又、地域の中で困っている人、どうしたらいいかわからない等ありましたら、ぜひご相談下されば…と思っております。

◎「笑顔で挨拶を」の目標について、職員の自己評価は5（大変良い）が少なかったようですが、ご家族様や利用者様から見ると、いつも笑顔で対応してくれているし、アンケートの中の（8）の※挨拶の評価は、大変満足、満足が殆どなので、良いと思います。と、言っていただきました。

自己評価がさらに上がるように、目標を意識して継続していきたいと思っております。

※一部、ご家族のお話は、個人情報や病名等は省かせて頂いております。

・町内会長 佐藤様より

今後、さらに事業所を増やすなど事業拡大の予定はあるんですか？

・中井社長より

今現在、当法人では、琴似と八軒とここで6事業所の運営をしております。

介護職離れなどで、職員の確保が難しい中、現在の事業所をしっかりと安定させることが大事と考えているので、いまの所は拡大をせず、現在の事業所をよりよいものにしていきたいと思っております。

・加藤より

本日は皆様お忙しい中、ありがとうございました。

4月の介護保険改正で、何がどう変わるのか正確にはまだ発表されておらず私達も不安がありますが、制度が変わっても、利用者様に安心して楽しく過ごして

頂きたいという思いには変わりありませんので、常に利用者様に気持ちを向けて仕事をしていきたいと思っております。

又、現在の所、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症も利用者様も職員も発症はありません。全国的には流行しているので、今後も十分手洗いうがいを励行し、注意していきたいと思います。風邪気味などのご家族様は、館内に入らない等をご協力いただき、ありがとうございます。

新年会の話もご家族でされておりましたが、本当に利用者様が笑顔で楽しんで下さるのが一番です。今回は生寿司と言う事もあり、喜んでたくさん食べられた方、手作りの小物（鶴の箸置き）や和風ランチョンマット（運試しかるた付き）等も喜んで頂きました。ご家族様も手伝いますので…とっていただき、本当に地域全体、家族ぐるみで作る桜ケアとなれば、嬉しいです。ご家族様の参加が本当に多く、一緒に楽しめる事がとても嬉しく思います。今後も行事等の参加、レクリエーション等は毎日しておりますので、お気軽に2階に来て頂けたらと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

次回は、3月の開催となります。近くなったらご案内いたします。よろしくお願いいたします。

複合型サービス桜ケア西線6条 管理者 加藤 寛子

064-0806 札幌市中央区南6条西15丁目2番12号

☎011-551-7200 fax011-551-7500